

MIDI

セットアップ機能のご紹介

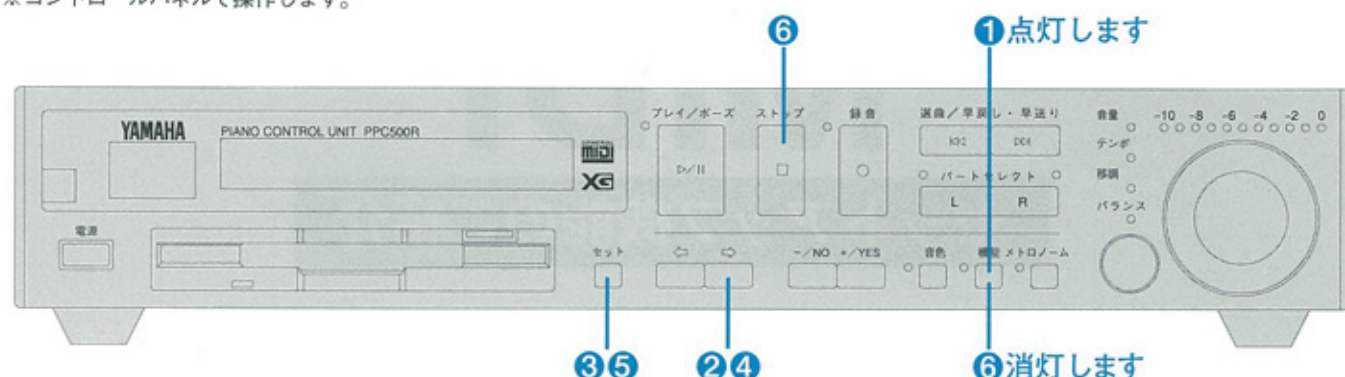
サイレントアンサンブルピアノは、楽器をつなぐデジタル規格＝MIDI（ミディ）に対応。他のMIDI対応楽器と接続して、手軽に連携プレイが楽しめます。またパソコンとの接続も、TO HOST端子により手軽。MIDI対応のパソコン音楽ソフトなどとシステムアップすれば、ピアノの世界をさらに広げることができます。本章では、MIDIシステムを組む際にサイレントアンサンブルピアノ側で行う準備についてご紹介しています。

*MIDI機能は、コントロールパネルで操作します。

MIDIセットアップメニューでの操作方法——MIDIセットアップメニュー	P74
セットアップパラメーター一覧（アルファベット順）	
*Delay In———ディレイのオン／オフ	P75
*Import File———他機種で作成されたディスクのピアノパートの再生チャンネル指定	P75
*KBD Out———鍵盤演奏のMIDI出力に関する設定	P76
*Local———鍵盤と音源部の切り離し	P78
*MIDI Out———MIDI出力データの選択	P76
*PianoPartESBL Out- ピアノパートのデータも内蔵音源に送信する	P75
*Piano Rcv Ch———ピアノパートの受信チャンネルの指定	P75
*Remote In———システムリアルタイム情報の受信オン／オフ	P77
*Remote Out———システムリアルタイム情報の送信オン／オフ	P77
*TO HOST———TO HOST端子からの出力	P76
セットアップ内容を初期値に戻す———リセット機能	P80
資料編	
*MIDI端子とTO HOST端子の接続について	P86
*MIDIインプリメンテーションチャート	P87

MIDIセットアップメニュー MIDI機能の呼び出し方と設定の方法

※コントロールパネルで操作します。



停止中に操作します

1 機能ボタンを押す

▶デ・ィスク *MIDI Setup →
*M-Tune *サイレント

2 カーソルボタン⇐を1回押し、「▶MIDI Setup」と表示させる

*デ・ィスク ▶MIDI Setup →
*M-Tune *サイレント

3 セットボタンを押し、メニュー選択画面を呼び出す

▶Piano Part *MIDI Out
*Remote *Local

4 カーソルボタンで4つのメニューから機能を選びセットボタンを押す

▶Piano Rcv Ch=01 →
>Delay In (500ms)=ON

次画面がある時に表示される

5 カーソルボタンで項目を選び(▶が移動)ー/NO、+/YESボタン、ダイヤルで機能の設定を行いセットボタンで確定する

※次画面があればカーソルボタン⇐で移動し、選択→設定を行う。カーソルボタン⇐で前画面に戻る。

▶Piano Part *MIDI Out
*Remote *Local

6 MIDIセットアップ機能を終わる時は、機能ボタンまたはストップボタンを押す



●本製品のMIDI端子やTO HOST端子と他のMIDI端子付き楽器、パソコンを接続してシステムを組む際に必要となる設定を、この機能で行います。

●MIDIセットアップ機能でセットした内容は、一部を除き、電源を切っても記憶されます。



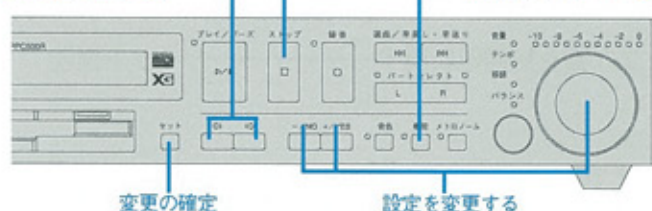
●TO HOST端子を使った接続方法はP86をご覧ください。

●TO HOST端子を使ったMIDIシステムの活用法はP82「TO HOST端子の活用とパソコン音楽ソフトとの連携」をご覧ください。

●MIDIセットアップモードでの基本操作(⑤)

表示の▶を移動し設定項目を選択

MIDIセットアップ機能終了



●接続する他のMIDI楽器・機器、パソコン、パソコンソフト等の取扱説明書もよくお読みください。

●設定途中でも、機能ボタンまたはストップボタンを押すとMIDIセットアップ機能を終了できます。

●ー/NO、+/YESボタンを同時に押すと、設定を初期値に戻すことができます。

Piano Part ピアノパートに関する設定

※操作方法はP74をごらんください。



P74③のメニュー画面で「▶ Piano Part」と表示されていることを確認し、セットボタンを押す

《受信チャンネル／ディレイ・イン》

▶ Piano Rcv Ch=01 →
> Delay In (500ms) = ON

カーソルボタン⇐を2回押すと、次の設定画面になります。

《インポートファイル／ピアノパートアンサンブル出力》

← Import File L▶01 R=##
PianoPart ESBL Out=OFF

●Piano Rcv Ch《ピアノ受信チャンネル》

MIDI からの入力データに対して、ピアノを発音させるMIDI 受信チャンネルを指定する

◆初期値：1

##	受信しない
1~16	各チャンネルのデータでピアノが発音
HP	チャンネル1と2の音符データでピアノが発音 チャンネル3のデータでペダルが動く
1+2	チャンネル1と2のデータでピアノが発音
Prg	ピアノ音色が設定されているチャンネルを自動検出してピアノが発音

●Delay In (500ms)《ディレイ・イン》

受信データに対してピアノの発音タイミングを調整する機能。

◆初期値：ON

ON	ピアノを正確に発音させます。但し、受信タイミングより0.5秒の遅れが出ます。
OFF	受信タイミングに対して可能な限り速く発音させます。但し、弱音量では遅れがちになります。

●Import File《インポートファイル》

他機種で記録されたフロッピーを本機のフロッピーディスクドライブで再生する時、ピアノを発音させるチャンネルを指定する機能。

◆初期値：L=1、R=##

##	受信しない
1~16	各チャンネルのデータでピアノが発音
Prg	ピアノ音色が設定されているチャンネルを自動検出してピアノが発音。

●PianoPart ESBL Out《ピアノパートアンサンブル出力》

再生時、ピアノパートを内蔵音源で発音させる／させないを設定する機能。

◆初期値：OFF

ON	ピアノパートのデータもアンサンブルパートの一部とみなし、内蔵音源に送信する
OFF	ピアノパートのデータは内蔵音源に送信しない



●サイレントアンサンブルピアノの自動演奏機能は、ピアノパートをピアノで発音させる（サイレント時はピアノ電子音源を使用）のが基本です。「Piano Part」は、他のMIDI楽器やパソコンと接続した際、ピアノを発音させるデータをどう扱うかを設定します。



- 「Piano Rcv Ch」は、データの内容に応じて変更してください。
- 「Import File」は主にサイレントアンサンブルピアノやピアノブレーヤ以外で作られた曲（スタンダードMIDIファイルなど）のフロッピーを本機で再生する時、データの内容に応じて変更してください。
- 「Piano Rcv Ch」および「Import File」で「Prg」（プログラムチェンジ）を設定すると、ピアノ系音色（1～8番）が使われているチャンネルの内、最も番号の若いチャンネルをピアノパートとして自動設定します。
- 「PianoPart ESBL Out」をONにすると、全パートを内蔵音源で再生することになります（ピアノと内蔵音源が同時に発音します）。なお、アンサンブルパートのMIDI出力のオン／オフは「MIDI Out」（P76）で行います。

MIDI Out MIDI OUT端子、TO HOST端子からの出力内容を設定

※操作方法はP74をごらんください。



P74④のメニュー画面でカーソルを「MIDI Out」に移し、セットボタンを押す

《ソースの選択》

- ・ホストセレクトスイッチ=MIDIの場合

▶ MIDI Out = KBD Out →

- ・ホストセレクトスイッチ=PC1、PC2、MACの場合

▶ MIDI Out = ESBL Out
TO HOST = KBD Out →

MIDI Out = KBD Outの場合、カーソルボタンを押して次の設定画面に入ります。

《送信チャンネル/プログラムチェンジ/音量》

- ・スプリットポイントを設定していない場合

← Out Ch ▶ 01
Prg = ### Vol = ### →

- ・スプリットポイントを設定している場合

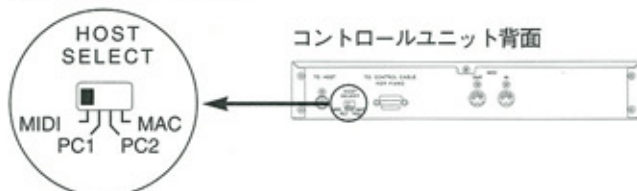
← Out Ch ▶ 01, 02 (L, R) →
Prg = ###, ### Vol = ###, ###

次の設定画面

《スプリットポイント、移調》

← ▶ Split [C4]
Trans L = 00 R = 00

■ホストセレクトスイッチ



●MIDI Out

MIDI OUT端子からどのデータを出力するか指定する

- ◆初期値: KBD Out

KBD Out	鍵盤演奏のデータを出力
ESBL Out	アンサンブルパートを出力
Thru Port2	TO HOST端子からの入力の内、「ポート2」と指定されたデータのみを出力

●TO HOST

- ◆TO HOST端子からの出力はKBD Outに固定です。

●KBD Out

- ◆初期値: Out Ch=1、Prg=###、Vol=###、Split=OFF、Trans=0/0

Out Ch	鍵盤演奏の送信チャンネル	OFF、1~16、HP
Split	スプリットポイントの設定	OFF、B-1~C7
Trans	スプリット時、L、Rごとに移調して送信	-60~+60(1=半音)
Prg	音色番号データの送信	###、1~128
Vol	音量データの送信	###、0~127



- MIDI Outは、MIDIシステムの構成に合わせて設定が必要です。TO HOST端子を使ったMIDIシステムの活用法は、P82「TO HOST端子の活用とパソコン音楽ソフトとの連携」をご覧ください。



- 「MIDI Out=KBD Out」は、本機をマスターキーボード、入力用キーボードとして使う際に選択します。この場合、カーソルボタンを押して次画面を呼び出し、引き続き送信チャンネルなどを設定します。
- 「MIDI Out=ESBL Out」を選ぶと、アンサンブルパート(本機の再生またはMIDI IN/TO HOST端子からの入力)を内蔵音源およびMIDI OUT端子にも出力します。PianoPart ESBL Out (P75) がONであれば、ピアノパートも合わせて出力します。
- 「MIDI Out=Thru Port2」を選んだ時、TO HOST端子から入力されたデータにPort2用のものが含まれていると、そのデータのみをそのまま出力します(Delay InがONであればディレイを行います)。
- 「MIDI Out=KBD Out」の次画面で「Out Ch=HP」に設定すると、鍵盤演奏情報とペダルのON/OFF情報をチャンネル1で送信し、ハーフペダル情報をチャンネル3を使って送信します。
- 「Split」で音名を指定すると(鍵盤、ダイヤル、-/NO、+/YESボタン)、スプリットポイントで音域を2つに分け、演奏を2つのチャンネルに分けて送信します(スプリットポイントはLパートに含まれます)。2種類の音色を同時に使って演奏したい時などに使います(鍵盤と音名についてはP47参照)。スプリットポイントを指定したら、Out Chは別々に設定します。LRごとの移調(TRANS)も設定できます(移調については、再生機能のP16「移調調節」参照)。
- 「Prg」「Vol」は、接続先のMIDI音源の音色・音量を切り換えるためのものです。鍵盤を弾いて音色・音量を確認できます。スプリット時は、LR個々に切り換えられます。

Remote スタート、ストップなどの送受信のオン/オフ

※操作方法はP74をごらんください。



P74④のメニュー画面でカーソルを「Remote」に移し、セットボタンを押す

```
▶ Remote Out=OFF  
> Remote In=OFF
```

●Remote Out

スタート、ストップなどのデータの送信オン/オフ

◆初期値：OFF

ON	スタート(演奏開始)、ストップ、コンティニュースタート(一時停止からの演奏再開)、ソングポジション(曲中の位置)、ソングセレクト(選曲)を送信する
OFF	上記のデータを送信しない

●Remote In

スタート、ストップなどのデータの受信オン/オフ

◆初期値：OFF

ON	スタート、ストップ、コンティニュースタート、ソングポジション、ソングセレクトを受信する
OFF	上記のデータを受信しない



●MIDIのシステムリアルタイムメッセージの送受信をオン/オフします(MIDIクロックの送受信は行いません)。



●コントロールパネルの操作で外部のシーケンサーなどをコントロールする場合は「Remote Out」をONにします。

●外部のシーケンサーなどの操作で本機をコントロールする場合は「Remote In」をONにします。

●TO HOST端子を使ったMIDIシステムについては、P82「TO HOST端子の活用とパソコン音楽ソフトとの連携」をご覧ください。

Local 鍵盤と音源部を接続する／切り離す

※操作方法はP74をごらんください。

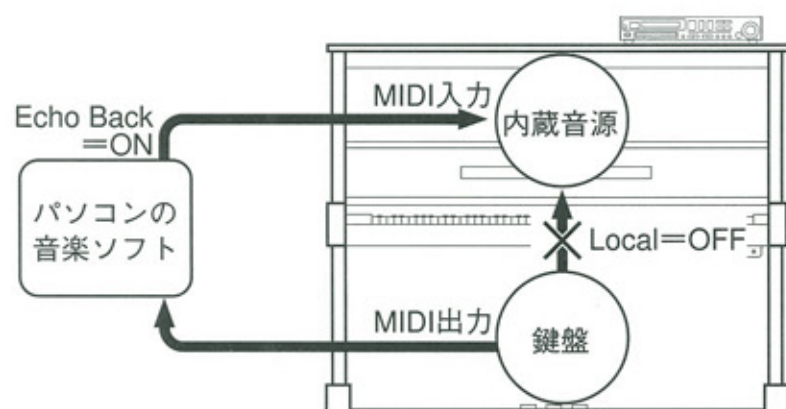


P74③のメニュー画面でカーソルを「Local」に移し、セットボタンを押す

▶ Local = ON
Not Memorized!

－/NO、＋/YESボタン、ダイヤルでLocal=OFF/ONを設定する

●Local=OFFの状態



Local=OFFでは鍵盤と内蔵音源が独立したMIDI機器のようになります。図の接続では、パソコンの音楽ソフト上のEcho Backなどの設定により、鍵盤を弾いて内蔵音源を発音させることも音楽ソフトからの内蔵音源のコントロールも可能です。



●鍵盤を弾いて内蔵されている音源をコントロールし、音を出す仕組みになっています。この状態はLocal Control Onと呼ばれます。Local Control Offにすると、「鍵盤」と「音源」が切り離され、鍵盤を弾いても内蔵音源からは音が出なくなります。一方演奏情報はLocal Control OffでもMIDI出力されますので、「直接内蔵音源は鳴らさず、MIDIで他の音源をコントロールしたい」時などは「Local=OFF」に設定します。



●TO HOST端子を使ったMIDIシステムの活用法はP82「TO HOST端子の活用とパソコン音楽ソフトとの連携」をご覧ください。



●次回電源投入時には「Local=ON」になります。

リセット

リセット機能のご紹介

リセット機能を使うと、メモリディスクの内容をクリアしたり、MIDIセットアップ、マスターチューン、サイレント、メトロノームの設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。いったんこの機能を実行すると、メモリディスクの録音内容や各機能の設定は完全に失われますので、リセットの項目と各初期値を十分にご確認のうえで行ってください。

メモリディスク

xvi、P60

MIDIセットアップ機能

P74～P78

マスターチューン

P26

マスターバランス

P23

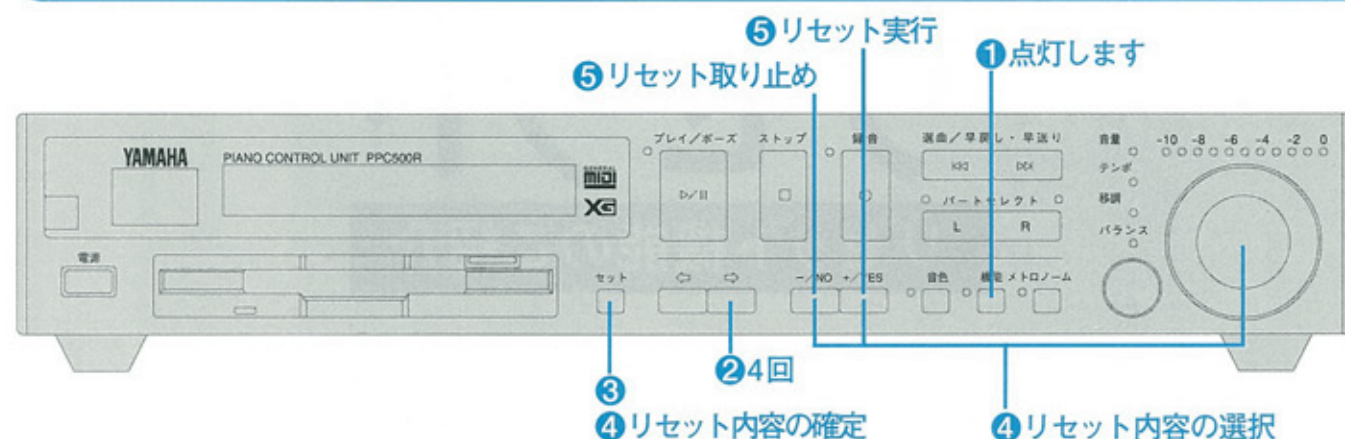
サイレント機能

P3～P5

メトロノーム機能

P58

リセット メモリディスクの内容や、MIDIセットアップなどの設定を工場出荷時の状態に戻す



停止中に操作します

1 機能ボタンを押す

▶ディスク *MIDI Setup→
*M-Tune *サイレント

2 カーソルボタン⇐⇒を押して4回押す

←▶リセット (←, セット)

3 セットボタンを押す

==リセット== (←, +, セット)
▶セットアップ

4 ー/NO、+/YESボタンまたはダイヤルでリセットする内容を選んでセットボタンを押す

==リセット== イイテ スカ?
セットアップ (YES, NO)

選択肢は次の3種類です。

- ・メモリディスク+セットアップ
- ・メモリディスク
- ・セットアップ

5 リセットする場合は+/YESボタンを押すと実行、取り止める場合はー/NOボタンを押す

▶ディスク *MIDI Setup→
*M-Tune *サイレント



- リセット機能は、メモリディスクの内容やさまざまな設定を工場出荷時の状態(初期値)に戻します。
- メモリディスクをリセットすると録音内容はすべて失われ、ディスクタイプはSMFタイプとなります。

【「セットアップ」に含まれる項目】

項 目	設定範囲	初期値	
MIDIセットアップ	Piano Rcv Ch	##, 1-16, 1+2, Prg, HP	01
	Delay In	ON, OFF	ON
	Import File L	##, 1~16, Prg	01
	R	##, 1~16, Prg	##
	Piano Part ESBL Out	OFF, ON	OFF
	MIDI Out	ESBL Out, KBD Out, Thru Port2	KBD Out
	Out Ch	OFF, 1~16, HP	01
	Split	OFF, B-1~C7	OFF
	Trans L	-60~+60	00
	R	-60~+60	00
Remote Out	OFF,ON	OFF	
	Remote In	OFF,ON	OFF
マスターチューン	TG Master Tune	-50~+50	00
バランス	TG Master Balance	10~127	100
サイレント	リバーブのタイプ	OFF,ROOM,HALL1,HALL2	OFF
	リバーブの深さ	浅い、やや浅い、深い、かなり深い	やや浅い
	鍵盤動作	ON,OFF	ON
	発音数	16, 32	16
メトロノーム	音量	50~127	100



- いったんリセットを実行すると設定内容を元に戻すことはできません。メモリディスクに録音された曲の内容、セットアップに含まれる項目と初期値を十分にご確認の上で行ってください。
- メモリディスクをリセットする際は、フロッピーに曲をコピーしてから行うことをおすすめします。

TO HOST端子の活用と パソコン音楽ソフトとの連携

TO HOST端子の搭載により、本機とパソコンの通信端子をケーブル一本で接続することができます（パソコンの機種別のケーブルや接続方法についてはP86参照）。リズムパートの録音や、音符の編集機能、譜面の印刷など、パソコン用の音楽ソフトが得意とする機能を、アコースティックピアノの音楽に活用することができます。もちろん、すでに市販のMIDIインターフェイスをお持ちであれば、本機のMIDI端子と接続可能です。

- ピアノ（及びピアノ電子音源）と内蔵電子音源を、パソコンのシーケンスソフト（録音／再生／編集などを行うソフト）でシーケンス・コントロールできます。
 - ・本機のTO HOST端子とパソコンの通信用端子を接続します。
 - ・本機のコントロールパネルの仕事をパソコンソフトに担当させる形です。本機は停止させ、録音はパソコンソフトで行います。
 - ・本機の鍵盤を弾いて内蔵音源のパートを録音する場合は、サイレント状態で音色ボタンを押して「Vice＝##」を選択することでLocal＝OFFの設定が容易に行えます。この時「Piano Rcv Ch＝##」とすれば「Delay In(500ms)＝OFF」となり、全パートが内蔵音源で時間の遅れなく再生され、他のパートを聞きながらの録音で便利です。音色の設定はパソコンのシーケンスソフトで行います。
 - ・再生時は（オーバーダビングしている際も）、シーケンスソフトの各トラックのMIDI送信チャンネルが、本機の内蔵音源の各パート番号と一致していることを確かめます。
- 本機で作成した曲をパソコンのシーケンスソフトなどで活用できます。
 - ・ほとんどのシーケンスソフトは、スタンダードMIDIファイル(SMF)のフォーマット0という形式の曲を読み込んで活用することができます。本機で録音した曲をフロッピーに保存し、パソコンのハードディスクにコピーします。使用できるフロッピーは、本機でSMFタイプにフォーマットしたフロッピーです（自動的にSMFのフォーマット0で録音されます）。
 - ・シーケンスソフトで変更を加えた曲を再び本機で使用する際は、ソフト側でSMFのフォーマット0形式に書き出します。
 - ・パソコンソフトとの連携には、メトロノーム録音をおすすめします。
- パソコンソフトで作成した曲や一般のスタンダードMIDIファイルをサイレントアンサンブルピアノで活用できます。
 - ・本機は、SMFのフォーマット0形式の曲を直接読み書きできます（フォーマット1は再生のみ）。もし、シーケンスソフト固有の形式で保存されている曲の場合は、ソフト側でSMFのフォーマット0形式に書き出し、フロッピーに保存します。
 - ・また、市販のデータ集（フロッピーなど）やフリーソフトの曲も、SMFのフォーマット0であれば本機で利用できます。

〔*参照ページ〕

- ◆MIDIセットアップ機能……P74～P78
- ◆接続について……P86
- ◆MIDI Implementation Chart……P87
- ◆フォーマットについて……xvii、P72

資料

内蔵音源の音色一覧表	P84
接続について（AUX端子、TO HOST端子）	P86
MIDI Implementation Chart	P87
仕様	P88

内蔵音源の音色一覧表

1. ノーマル音色

グループ	音色番号	表示名	備考
ピアノ	1	GrandPno	グランドピアノ
	2	BritePno	ブライトピアノ
	3	E.Grand	電気グランドピアノ
	4	HnkyTonk	ホンキートンクピアノ
	5	E.Piano1	エレクトロニックピアノ
	6	E.Piano2	
	7	Harpsi.	ハーブシコード
	8	Clavi.	クラビコード
鍵盤打楽器	9	Celesta	チェレスタ
	10	Glocken	グロッケンシュピール
	11	MusicBox	オルゴール
	12	Vibes	ビブラフォン
	13	Marimba	マリンバ
	14	Xylophon	木琴
	15	TubulBel	チューブラーベル
	16	Dulcimer	ダルシマー
オルガン	17	DrawOrgn	ドローパー・オルガン
	18	PercOrgn	パーカッシブ・オルガン
	19	RockOrgn	ロック・オルガン
	20	ChrchOrg	教会オルガン
	21	ReedOrgn	足踏みオルガン
	22	Acordion	アコーディオン
	23	Harmnica	ハーモニカ
	24	TangoAcid	タンゴ・アコーディオン
ギター	25	NylonGtr	生ギター(ナイロン弦)
	26	SteelGtr	生ギター(金属弦)
	27	Jazz Gtr	エレキギター(ジャズ)
	28	CleanGtr	エレキギター(クリーン)
	29	Mute.Gtr	エレキギター(ミュート)
	30	Ovrdrive	エレキギター(オーバードライブ)
	31	Dist.Gtr	エレキギター(ディストーション)
	32	GtrHarmo	ハーモニクス
ベースギター	33	Aco.Bass	ウッドベース
	34	FngrBass	エレキベース(フィンガー)
	35	PickBass	エレキベース(ピック)
	36	Fretless	エレキベース(フレットレス)
	37	SlapBas1	エレキベース(スラップ)
	38	SlapBas2	
	39	SynBass1	シンセベース
	40	SynBass2	
弦楽器	41	Violin	バイオリン
	42	Viola	ビオラ
	43	Cello	チェロ
	44	Contrabs	コントラバス
	45	Trem.Str	ストリングス(トレモロ)
	46	Pizz.Str	ストリングス(ピチカート)
	47	Harp	ハープ
	48	Timpani	ティンパニ
アンサンブル	49	Strings1	弦楽アンサンブル
	50	Strings2	
	51	Syn.Str1	シンセ・ストリングス
	52	Syn.Str2	
	53	ChoirAah	合唱(Aah)
	54	VoiceOoh	合唱(Ooh)
	55	SynVoice	シンセ・ボイス
	56	Orch.Hit	オーケストラ・ヒット
金管楽器	57	Trumpet	トランペット
	58	Trombone	トロンボーン
	59	Tuba	チューバ
	60	Mute.Trp	ミュート・トランペット
	61	Fr.Horn	フレンチホルン
	62	BrasSect	ブラスセクション
	63	SynBras1	シンセブラス
	64	SynBras2	

グループ	音色番号	表示名	備考
リード管楽器	65	SprmoSax	ソプラノ・サクソフォン
	66	Alto Sax	アルト・サクソフォン
	67	TenorSax	テナー・サクソフォン
	68	Bari.Sax	バリトン・サクソフォン
	69	Oboe	オーボエ
	70	Eng.Horn	イングリッシュ・ホルン
	71	Bassoon	バスーン(ファゴット)
	72	Clarinet	クラリネット
エアリード管楽器	73	Piccolo	ピッコロ
	74	Flute	フルート
	75	Recorder	リコーダー
	76	PanFlute	パンフルート
	77	Bottle	ボトルの口を吹く音
	78	Shakhchi	尺八
	79	Whistle	口笛
	80	Ocarina	オカリナ
シンセリード	81	SquareLd	矩形波
	82	Saw.Lead	鋸波
	83	CallioLd	カリオベ
	84	Chiff Ld	chiff
	85	CharanLd	chrang
	86	Voice Ld	ボイス
	87	Fifth Ld	五度
	88	Bass&Ld	ベース+リード
シンセパッド	89	NewAgePd	New Age
	90	Warm Pad	Warm
	91	PolySyPd	Poly Shnth
	92	ChoirPad	Choir
	93	BowedPad	Bowed
	94	MetalPad	Metallic
	95	Halo Pad	Halo
	96	SweepPad	Sweep
シンセ効果音	97	Rain	Rain
	98	SoundTrk	Sound Track
	99	Crystal	Crystal
	100	Atmosphr	Atomosphere
	101	Bright	Brightness
	102	Goblins	Goblins
	103	Echoes	Echoes
	104	Sci-Fi	Sci(ence)-Fi(ction)
民族楽器	105	Sitar	シター
	106	Banjo	バンジョー
	107	Shamisen	三味線
	108	Koto	琴
	109	Kalimba	カリンバ
	110	Bagpipe	バグパイプ
	111	Fiddle	フィドル
	112	Shanai	シャーナーイ
旋律打楽器	113	TnklBell	ベル
	114	Agogo	アゴゴ
	115	SteelDrm	スチールドラム
	116	WoodBlok	ウッドブロック
	117	TaikoDrm	和太鼓
	118	MelodTom	メロディックタム
	119	Syn.Drum	シンセドラム
	120	RevCymbi	リバースシンバル
効果音	121	FretNoiz	フレット・ノイズ
	122	BrthNoiz	ブレス・ノイズ
	123	Seashore	波の音
	124	Tweet	鳥のさえずり
	125	Telephone	電話
	126	Helicptr	ヘリコプター
	127	Applause	拍手
	128	Gunshot	ガン・ショット

2. ドラム音色 空欄はStandard Kitと同じ打楽器です。

音色番号	1	2	9	17	25	26	33	41	49
キット名	Standard Kit	Standard Kit 2	Room Kit	Rock Kit	Electro Kit	Analog Kit	Jazz Kit	Brush Kit	Classic Kit
C#-1	Surdo Mute								
D -1	Surdo Open								
D#-1	Hi Q								
E -1	Whip Slap								
F -1	Scratch Push								
F#-1	Scratch Pull								
G -1	Finger Snap								
G#-1	Click Noise								
A -1	Metronome Click								
A#-1	Metronome Bell								
B -1	Seq Click L								
C 0	Seq Click H								
C#0	Brush Tap								
D 0	Brush Swirl L								
D#0	Brush Slap								
E 0	Brush Swirl H				Reverse Cymbal	Reverse Cymbal			
F 0	Snare Roll	Snare Roll 2							
F#0	Castanet				Hi Q	Hi Q			
G 0	Snare L	Snare L 2		SD Rock M	Snare M	SD Rock H		Brush Slap L	
G#0	Sticks								
A 0	Bass Drum L			Bass Drum M	Bass Drum H 4	Bass Drum M			Bass Drum L2
A#0	Open Rim Shot	Open Rim Shot 2							
B 0	Bass Drum M	Bass Drum M 2		Bass Drum H 3	BD Rock	BD Analog L			Gran Cassa
C 1	Bass Drum H	Bass Drum H 2		BD Rock	BD Gate	BD Analog H	BD Jazz	BD Soft	Gran Cassa Mute
C#1	Side Stick					Analog Side Stick			
D 1	Snare M	Snare M 2	SD Room L	SD Rock	SD Rock L	Analog Snare L		Brush Slap	Marching Sn M
D#1	Hand Clap								
E 1	Snare H	Snare H 2	SD Room H	SD Rock Rim	SD Rock H	Analog Snare H		Brush Tap	Marching Sn H
F 1	Floor Tom L		Room Tom 1	Rock Tom 1	E Tom 1	Analog Tom 1	Jazz Tom 1	Brush Tom 1	Jazz Tom 1
F#1	Hi-Hat Closed					Analog HH Closed 1			
G 1	Floor Tom H		Room Tom 2	Rock Tom 2	E Tom 2	Analog Tom 2	Jazz Tom 2	Brush Tom 2	Jazz Tom 2
G#1	Hi-Hat Pedal					Analog HH Closed 2			
A 1	Low Tom		Room Tom 3	Rock Tom 3	E Tom 3	Analog Tom 3	Jazz Tom 3	Brush Tom 3	Jazz Tom 3
A#1	Hi-Hat Open					Analog HH Open			
B 1	Mid Tom L		Room Tom 4	Rock Tom 4	E Tom 4	Analog Tom 4	Jazz Tom 4	Brush Tom 4	Jazz Tom 4
C 2	Mid Tom H		Room Tom 5	Rock Tom 5	E Tom 5	Analog Tom 5	Jazz Tom 5	Brush Tom 5	Jazz Tom 5
C#2	Crash Cymbal 1					Analog Cymbal			Hand Cym. Open L
D 2	High Tom		Room Tom 6	Rock Tom 6	E Tom 6	Analog Tom 6	Jazz Tom 6	Brush Tom 6	Jazz Tom 6
D#2	Ride Cymbal 1								Hand Cym. Closed L
E 2	Chinese Cymbal								
F 2	Ride Cymbal Cup								
F#2	Tambourine								
G 2	Splash Cymbal								
G#2	Cowbell					Analog Cowbell			
A 2	Crash Cymbal 2								Hand Cym. Open H
A#2	Vibraslap								
B 2	Ride Cymbal 2								Hand Cym. Closed H
C 3	Bongo H								
C#3	Bongo L								
D 3	Conga H Mute					Analog Conga H			
D#3	Conga H Open					Analog Conga M			
E 3	Conga L					Analog Conga L			
F 3	Timbale H								
F#3	Timbale L								
G 3	Agogo H								
G#3	Agogo L								
A 3	Cabasa								
A#3	Maracas					Analog Maracas			
B 3	Samba Whistle H								
C 4	Samba Whistle L								
C#4	Guiro Short								
D 4	Guiro Long								
D#4	Claves					Analog Claves			
E 4	Wood Block H								
F 4	Wood Block L								
F#4	Cuica Mute				Scratch Push	Scratch Push			
G 4	Cuica Open				Scratch Pull	Scratch Pull			
G#4	Triangle Mute								
A 4	Triangle Open								
A#4	Shaker								
B 4	Jingle Bell								
C 5	Bell Tree								

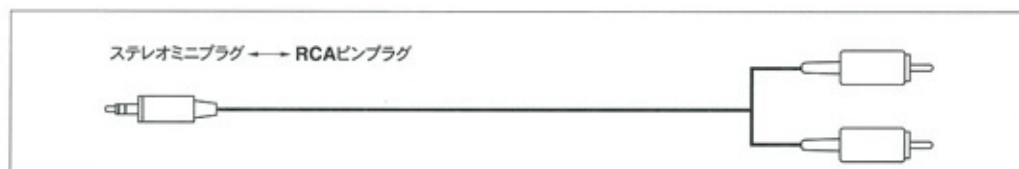
接続について (AUX端子、TO HOST端子)

AUX OUT、AUX IN端子とオーディオ装置やアンプ内蔵スピーカーとの接続

- ピアノ電子音源、内蔵電子音源を外部スピーカーで聴くためには、サイレントアンサンブルピアノのAUX OUT端子とオーディオ装置やアンプ内蔵スピーカーの音声入力端子を接続します。
- 外部電子音源、CDプレーヤー、カセットデッキなどの出力をピアノ電子音源、内蔵電子音源とともに聴くためには、外部機器

の音声出力端子とサイレントアンサンブルピアノのAUX IN端子を接続します。

※外部機器の音声出力端子がステレオミニジャックの場合、ステレオミニ→ステレオミニのケーブルをご使用ください。



TO HOST端子とパソコンの接続

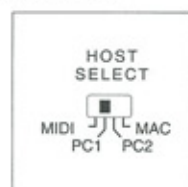
ホストセレクト・スイッチの設定とケーブル

- ホストセレクトスイッチの切り換えやパソコンとの接続ケーブルの抜き差しは、必ず電源オフの状態で行ってください。
- アプリケーションソフトがRS-232Cをサポートしている必要があります。

NEC PC-9801、9821シリーズとの接続

- ホストセレクト・スイッチ=PC1
- ケーブル=ミニDIN 8ピン→D-SUB 25ピン(ヤマハCCJ-PC1または同等品)

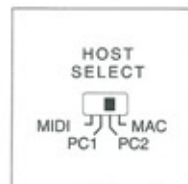
*アプリケーションソフトによっては、ホストセレクト・スイッチをPC2にセットしないと動作しない場合があります。



IBM PC/ATおよびその互換機との接続

- ホストセレクト・スイッチ=PC2
- ケーブル=ミニDIN 8ピン→D-SUB 9ピン(ヤマハCCJ-PC2または同等品)

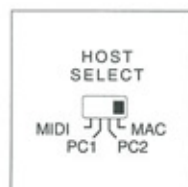
*パソコン側がD-SUB 25ピンの場合、NEC PC-98シリーズ用と同じミニDIN 8ピン→D-SUB 25ピンのケーブルとオス→メス変換プラグアダプターをご使用ください。



アップルMacintosh、Power Macintoshシリーズ

- ホストセレクト・スイッチ=MAC
- ケーブル=ミニDIN 8ピン→ミニDIN 8ピン(アップル社システムベリフェアルー8ケーブル、ヤマハCCJ-MACまたは同等品)

*アプリケーションソフト側でMIDIインターフェイスのクロックを1MHzに設定してください。



MIDI Implementation Chart

YAMAHA Silent Ensemble Piano
Model: HQSXG

MIDI Implementation Chart

Date:01-Aug-1996
Version:1.00

Function...		Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Channel	Default Changed	1-16 1-16	1-16 1-16	
Mode	Default Message Altered	3 × *****	3 3, 4(m=1) × *2, *3	
Note Number:	True Voice	0-127 *****	0-127 0-127	
Velocity	Note ON Note OFF	○ 9nH, v = 1-127 × 9nH v = 0	○ v = 127 ○	
After Touch	Key's Ch's	× ×	○ *1, *2 ○ *1, *2	
Pitch Bend		×	○ 0-24 semi *1, *2	
Control Change	0, 32	○	○ *1, *2	Bank Select
	7, 11	○	○ *1	
	1, 5, 10	×	○ *1, *2	
	6, 38	×	○ *2	Data Entry
	64-67	○	○ *1	
	71-74	×	○ *2	Sound Controller
	84	×	○ *2	Portamento Cntrl
	91, 93, 94	×	○ *2	Effect Depth
	96-97	×	○ *1, *2	RPN Inc, Dec
	98-99	×	○ *1, *2	NRPN LSB, MSB,
	100-101	×	○ *1, *2	RPN LSB, MSB
	120	○	○	All Sound Off
	121	×	○ *2	Reset All Cntrls
Prog Change : True #		○ 0-127	○ 0-127 *2 *****	
System Exclusive		○	○	
: Song Pos		○	○	
Common : Song Sel		○	○	
: Tune		×	×	
System : Clock		×	×	
Real Time : Commands		○ *1	○ *1	
Aux : Local ON/OFF		×	○	
: All Notes OFF		○ (123)	○ (123-127)	
Mes- : Active Sense		○	○	
sages : Reset		×	×	
Notes *1=Received(transmitted) if switch is on. *2=Only "ESBL Part" can recognize. *3=m is always treated as "1" regardless of its value.				

Mode 1:OMNI ON, POLY	Mode 2:OMNI ON, MONO
Mode 3:OMNI OFF, POLY	Mode 4:OMNI OFF, MONO

○ : Yes
× : No

電源	AC100V±10% 50/60Hz
定格消費電力	140W
コントロールユニット	電源ボタン、ディスク取り出しボタン、プレイ/ポーズボタン、ストップボタン、選曲/早戻し・早送りボタン、パートセレクトボタン (L、R)、録音ボタン、セレクトボタン、- / NOボタン、+ / YESボタン、カーソルボタン (←、→)、セットボタン、音色ボタン、メトロノームボタン、機能ボタン、ダイヤル
LCD (液晶表示部)	24文字×2行
LED	7セグメント×2桁、インジケータ×22
記録メディア	3.5インチ・フロッピーディスク(2DD、720KB) 3.5インチ・フロッピーディスク(2HD、1.44MB) 内蔵メモリディスク
リアパネル	HOST SELECTスイッチ
スイッチボックス	主電源スイッチ、ヘッドフォンボリュームつまみ
ドライブユニット キードライブ	88鍵、最大同時発音数=16音
ペダルドライブ	ダンパーペダル、ソフトペダル
センサーユニット ハンマー/キーセンサー	88鍵、最大同時発音数=16音
ペダルセンサー	ダンパーペダル、ソフトペダル、消音ペダル
ピアノ電子音源 効果・機能 最大同時発音数	リバーブ、ピッチコントロール ステレオ16音(モノラル32音)切り換え式
入出力端子	コントロールユニット: TO HOST、TO CONTROL CABEL FOR PIANO、MIDI IN、MIDI OUT スwitchボックス: フットコントローラ、AUX IN、AUX OUT、ヘッドフォン×2
使用条件	温度: 5~50°C
付属品	リモコン、リモコン用電池(単3×2)、ステレオヘッドフォン、オーディオケーブル、試聴用ソフト、ブランクディスク、取扱説明書(本書)、ビデオ

内蔵音源部	
音源方式	AWM2 (Advanced Wave Memory 2)
最大同時発音数	32音
パート数	16パート
演奏モード	XG、GM
音色数	ノーマルボイス 676 (128) ドラムキット 21 (9)

※鍵盤で演奏する場合は128音色+9ドラムキット、MIDIデータにより演奏する場合は676音色+21ドラムキット。

フットスイッチ、フットコントローラ使用時の機能・動作

	FC4、FC5	FC7	備 考
再生	○	○ テンポ調節 に連動	プレイ/ポーズボタンと同じ働き (P10参照)
再生	—	指定テンポに対して 30～100%	踏み込むとコントロールパネルで設定のテンポで 再生、戻すと遅くなる
録音	○	○	プレイ/ポーズボタンと同じ働き (P38参照)

よりよくご活用いただくために

サイレントアンサンブルピアノのお手入れ

サイレントアンサンブルピアノは、ピアノ本体と自動演奏装置の最適のマッチングの上に性能を発揮します。ピアノ、自動演奏装置、自動演奏を記録しているフロッピーディスクは、大切にお取り扱いください。お手入れの基本はピアノと同じです。また、調律の際には、サイレントアンサンブルピアノであることをお伝えください。

●ピアノ本体のお手入れ

通常のピアノと同じお手入れ(調律など)が必要です。詳しくはヤマハピアノ取扱説明書をご覧ください。一般のご家庭での使用には、通常、年に1~2回の定期調律をおすすめいたします。

●自動演奏装置の保守

電気系の部品のうち、メカニカルな機構を持った部品は、ご使用の時間に伴った消耗が考えられます。ご使用の頻度にあった定期点検および調律をおすすめします。

●フロッピーディスクの保管

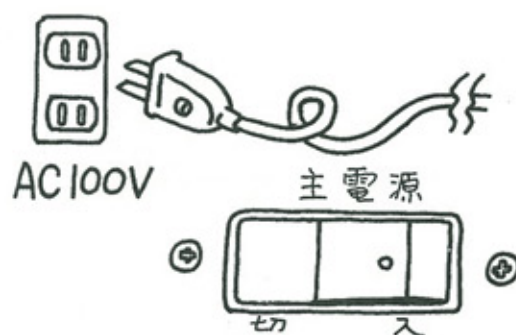
ピアノソフトはケースに入れて保管するようにしてください。また取り扱いについては、「フロッピーディスクについて」(xiv)をご覧ください。

取り扱いについて

●電源について

必ずAC100V（50Hzまたは60Hz）のコンセントに接続してください。AC100V以外のコンセントには接続しないでください（本機は日本国内仕様です）。

長期間ご使用にならない時は、主電源スイッチを「切」にした後、電源プラグをコンセントから抜いてください。



●コントロールユニットとリモコン

コントロールユニット、リモコンに無理な力を加えないでください。

コントロールユニットの上に物を置かないでください。

スイッチ、ボタンなどを無理やり押ししたりしないでください。

ピアノの上にじかにコントロールユニットを置くと、ゴム足の痕が付く場合があります。ピアノの上にじかに置く場合は、ヤマハアップライトピアノ・トップカバーをご使用ください。

コントロールユニットを開けて内部に触れると、故障や感電事故を起こすことがあります。ユニット内に物が入ってしまった時などは、まず電源プラグを抜き、販売店にご連絡ください。



●コード類について

コード類の上に物を置いたり、ピアノのふたに挟み込んだりしないでください。

コード類を抜き差しする時は、必ず電源を切ってから行ってください。

コード類を抜く時は、断線やショートを防ぐため、必ずプラグを持って行ってください。



●こんな時には？

落雷のおそれがある時は？

早めにコンセントから電源プラグを抜いてください。



ピアノの外装を磨く時は？

表面についたほこりは、ピアノ用の羽毛かやわらかな布で軽くから拭きします。鏡面艶出し塗装のピアノは、専用のヤマハピアノユニコン（別売）でムラなく拭きあげてください。市販の化学雑巾や外装手入れ剤は成分が分かりませんので、使用はさけてください。



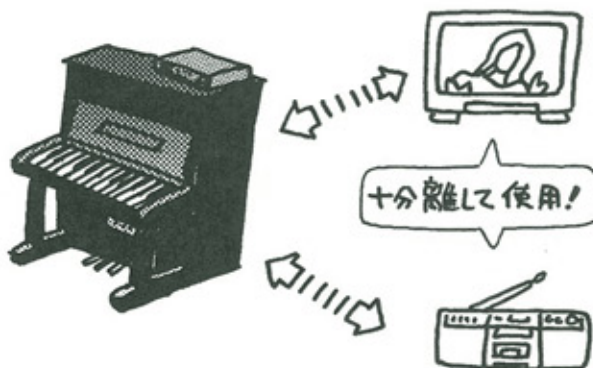
水に濡れた時は？

万一雨が降ったり、水をこぼしてしまった時は、すぐ電源プラグを抜き、販売店にご連絡ください。また煙やスプレーなどがかからないよう、ご注意ください。



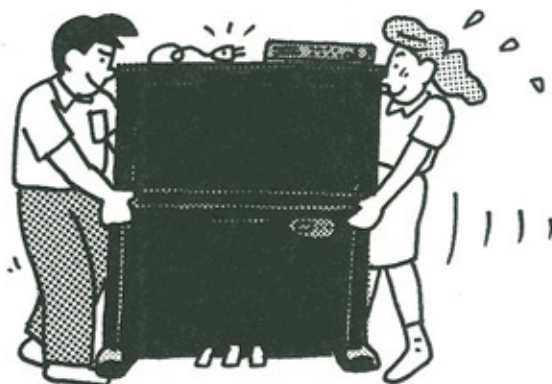
他の電気機器への影響は？

本機の近くでラジオ・テレビなどを同時に使用すると、ラジオ・テレビ側で雑音などが生じることがあります。十分離してご使用ください。



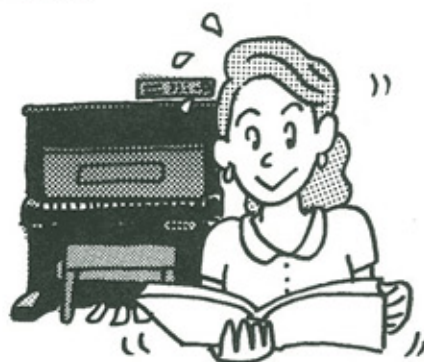
移動する時は？

電源プラグを抜き、コード類をすべてはずしてから、移動します。ピアノの運搬・移動は、専門の業者に依頼することをおすすめします。



故障かな？と思ったら

電源やコード類がきちんと接続されていないかったり、意外なところで操作を誤っている場合があります。まず「ちょっとお調べください」(P96)でご確認ください。



操作ガイド

●エラーメッセージについて

本機は、不適当な操作を行おうとした場合などに、ディスプレイに警告やエラーを意味するメッセージを表示することがあります。メッセージの内容をご確認のうえ、適切な処置を施してください。

コノキョクハ トリナオシテ キマセン
キョクニ プ ロテクトカ カカッティマス

……▶ 市販のピアノソフトには再録音できません。

シ ッコウテ キマセン
キョクニ プ ロテクトカ カカッティマス

……▶ 市販のピアノソフトで実行できない機能です。

コノテ ィスクニハ コレイシ ョウ
キロク テ キマセン

……▶ ディスクの残量がありません。別のディスクに記録してください。

テ ィスクニ プ ロテクトカ カカッティマス

……▶ フロッピーに書き込むためにはライトプロテクトタブをオフにしてください。
(xv参照)

テ ィスクノ アキシヘ ースカ タリマセン

……▶ ディスクの残量が少ないため実行できません。残量の十分にあるフロッピーで行ってください。

ロクオン/サイセイ テ キル キョクスウハ
60キョクマテ テ ス

……▶ E-SEQタイプのディスクでは60曲までしか記録できません。

ロクオン/サイセイ テ キル キョクスウハ
99キョクマテ テ ス

……▶ SMFタイプのディスクでは99曲までしか記録できません。

キョクノ ファイルカ アリマセン

……▶ 記録されている曲がない、または1曲だけなので実行できません。

コヒ ーサキノ テ ィスクカ チカ イマス

……▶ ディスクコピー等でコピー先のフロッピーと別のフロッピーを挿入すると表示されます。

テ ィスクカ フォーマット サレティマセン

……▶ フォーマットされていないディスクは使えません。使う前に必ずフォーマットしてください。
(P36参照)

フォーマットノ タイプカ チカ イマス

.....▶ コピー元と同じフォーマットのディスクを挿入して下さい。

ロックオン トラックヲ エラント クダサイ

.....▶ 録音するトラックを選んで録音を始めて下さい。

E-SEQ ファイルシカ コピー テ キマセン

.....▶ E-SEQタイプのディスクではE-SEQ曲しか記録できません。

ERROR OCCURRED!
(PUSH STOP KEY!)

.....▶ ストップボタンを押してエラー表示を解除してください。フロッピーの不良の疑いがあります。フロッピーを交換しても頻繁に発生するようなら、販売店またはヤマハサービス窓口にご連絡下さい。

まずお調べください

本機をご使用中、正常に動作しない時は、下記の次項をご確認ください。その上で正常に動作しなかったり、下記以外でも異常が認められた場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、お買上げ店または最寄りのヤマハまでご連絡ください。

電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。 ●接続コードをピアノ本体に確実に差し込んでください ●主電源スイッチを「入」にしてください。
録音できない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグが確実に差し込んであるか確認してください。 ●フォーマット済のフロッピーをいれてから操作します。 ●消去防止(xiv参照)をオフにしてください。 ●残量が少ない場合はフロッピーを交換してください。 <p>※「エラーメッセージについて」(P94参照)</p>
録音ボタンを押すとトラック表示になってしまう	<ul style="list-style-type: none"> ●アンサンブル曲を選曲中に録音ボタンを押すと、その曲番号のまま、録音待機に入ります。新たに録音した時は、リモコンのテンキーか選曲／早戻し・早送りボタンで、最終曲番号+1の曲番号を表示させてください。
タイトル入力した文字が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ●演奏を録音しないと曲は保存されないで、タイトル入力だけを行っても入力した文字は保存されません。タイトル入力後、録音を行ってください。いったん曲を保存すれば、再録音時にタイトル入力だけを行ってもタイトルは更新されます。
再生できない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグが確実に差し込んであるか確認してください。 ●消去した曲は再生できません。 ●録音途中でフロッピーを取り出したり、電源を切ったりした曲は、録音されていません。再録音してください。 <p>※「エラーメッセージについて」(P94参照)</p>
再生時の調節ができない	<ul style="list-style-type: none"> ●リモコンはコントロールパネルに向けて操作してください。 ●音量・移調・テンポ・リピート各ボタンを押し、各ボタン左のランプを点灯させてから、ダイヤルカー／NOボタン、+／YESボタンで操作します。
何度も繰り返して再生されてしまう	<ul style="list-style-type: none"> ●リピート機能が働いていると、繰り返し演奏されます。リピート機能を解除してください。
リピート機能が思い通りの表示にならない	<ul style="list-style-type: none"> ●リピート機能を解除しても、A-Bリピートやリターン&ストップのA点・B点を記憶しています。リピートボタン左のランプを点灯させてから0ボタンを押し、A点・B点の指定を解除してください。
録音した時と違う音量・音程・テンポで再生される	<ul style="list-style-type: none"> ●再生時の調節機能が働いています。音量・移調・テンポをオリジナルの状態に戻すには、それぞれのボタンを点灯させ、0ボタンを押してください。
再生時に音抜けする	<ul style="list-style-type: none"> ●三連符、トリルなどの速いパッセージで、鍵盤が元の位置に戻らないうちに次の打鍵が始まる曲は、再生時に音抜けすることがあります。テンポの設定を遅くし、音量を上げてみてください。 ●録音時の演奏が弱過ぎると、正しく再生できない場合があります。確実に演奏して再録音してください。

再生時にピアノから接触音が聞こえる	●駆動部が鍵盤後方下部を突き上げるしくみなので、再生時に音量を下げすぎると接触音が聞こえる場合があります。
録音した時と違うアクセントで再生される	●録音時の演奏が弱過ぎると、正しく再生できない場合があります。確実に演奏して再録音してください。
ピアノの音が出ない(サイレント状態から戻らない)	<p>●サイレント状態（消音ペダルがセットされている）のまま、スイッチボックスの主電源スイッチをオフにしたり、電源プラグを引き抜いたり、停電で電源が切れたりすると、サイレント状態から元に戻らなくなってしまいます。改めて、主電源スイッチ→電源ボタンの順で電源を入れ直し、消音ペダルをオフしてください。</p> <p>●電源を切る時は、消音ペダルをもとに戻し、次いでコントロールパネルの電源ボタンをオフするようにしてください。</p> <p>※「電源について」(ix参照)</p>

索引

ア

アンサンブル	アンサンブル曲	20
	アンサンブル曲の再生	22
	アンサンブルパート	21
	アンサンブルパート音色表示	25
	アンサンブルパートの録音	48-49
	ピアノパートセレクト	24
	マスターバランス	23
	リズムトラックの録音	50
一時停止 (ポーズ)		11
移調	移調調節	16
	移調ボタン	xii, 16
	移調ランプ	xi, 16
	リズムパートの再生	22
一曲リピート		28
英数モード		42-43
エラーメッセージ		94-95
オーディオケーブル		86
大文字/小文字切り換え		43
音源→内蔵電子音源		
音色	アンサンブルパート音色表示	25
	音色一覧表	84-85
	音色設定画面	25
	音色番号	6, 7
	音色ボタン	xi
	音色モード	6
音量	音量調節	15
	音量ボタン (リモコン)	xii, 15
	音量ランプ	xi, 15
	音量レベル表示	22, 39
	マスターバランス	23
	Vol	6, 25, 48

カ

カーソルボタン		x, 2
カウンター変更		70-71
カナ数モード		42-43
機能ボタン		xi
曲	曲コピー	64-65
	曲消去	62-63
	曲並び替え	66-67
	曲のフォーマット	xvii, 72
	曲番号表示部	x, 12
	曲名入力	42-43
クオンタイズ		50
鍵盤	鍵盤動作のキャンセル	4, 81
	鍵盤と音名	47
コピー	曲コピー	64-65
	ディスクコピー	68-69
コントロールパネル		x-xi
コントロールユニット (背面)		viii

サ

サーチ機能	サーチボタン	xii, 32-33
	ダイレクトサーチ	33
	ダイレクト選曲	32
再生	アンサンブル曲の再生	22
	再生時の調節機能	15-17
	再生のしかた	10
最大同時発音数		5, 81

サイレント機能		2
再録音		40-41
サウンド早戻し・早送り		14
時間録音		50, 70
主電源スイッチ		viii-ix
消音演奏		2
消音ペダル		viii-ix, 2
消去	曲消去	62-63
	消去防止	xiv-xv
	全曲の消去 (フォーマット)	36
スイッチボックス		viii
スタンダードMIDIファイル		72, 75, 82
ストップボタン		x, xii
スプリットポイント		47
セットボタン		x
セレクトボタン		xi, 15-17, 23
選曲	選曲	12
	選曲/早戻し・早送りボタン	xi
	選曲ボタン (リモコン)	xii
	ダイレクト選曲	32
全曲リピート		27
セント		26
ソフト		8
ソフトペダル		viii, 42-43

タ

タイトル入力		42-43
ダイヤル、ダイヤル表示		xi, 15, 59
ダイレクトサーチ		33
ダイレクト選曲		32
ダンパーペダル		viii
チャンネル		21
停止 (ストップ)		11
ディスク	ディスク機能	61-71
	ディスクコピー	68-69
	ディスク残量表示	39
	ディスク挿入口、取り出しボタン	x, xiv
	ディスクタイトル	11, 42-43
	ディスクタイプ	xvii, 72
	ディスクのタイプ表示	10
	フロッピー	xiv-xvi, 60
	メモリディスク	xvi, 60
ディスプレイ		x
テンキー (リモコン)		xii, 32
電源ボタン		ix, x
テンボ	テンボ調節	17
	テンボボタン (リモコン)	xii, 17
	テンボランプ	xi, 17
	録音テンボ変更	54
トラック	トラック	21
	トラック表示画面	24, 49
	録音トラック番号	48
ドラムキット		7, 51, 85

ナ

内蔵電子音源	音色一覧表	84-85
	音源の紹介	7
	音色モード	6
	仕様	89
	マスターチューン	26
	マスターバランス	23

ハ

パート	21
パートキャンセル	18
パートセレクトボタン	xi, xii, 18, 19, 45
ハーフペダル対応曲	8, 24
パソコンとの接続	86
早戻し・早送り	13
早戻し・早送りボタン	xi, xii
バランスランプ	xi, 23
ピアノ電子音、ピアノ電子音源	2, 7
ピアノパートセット	49
ピアノパートセレクト	24
ピアノモニター (LRセットアップ)	46
ファイル名	38
フォーマット	曲のフォーマット xvii, 72
	ディスクのフォーマット (タイプ) xvii, 72
	フォーマット0、フォーマット1 72, 82
	フォーマット機能 36
付属品	viii
フットスイッチ、フットコントローラ	viii-ix, 89
プレイ/ポーズボタン	x, 10-11
プレイボタン (リモコン)	xii
フロッピー	xiv-xv, xvi
プロテクト	xiv
ペダル	消音ペダル viii-ix, 2
	ソフトペダル viii
	ダンパーペダル viii
	ペダルキャンセル 19
	ペダルロックオン 46
	LRセットアップ 46
ヘッドフォン端子	viii-ix, 2
ポーズ (一時停止)	11
ポーズボタン (リモコン)	xii
ホール1、2	3
補助入出力端子 (AUX IN、OUT)	viii-ix
ホストセレクトスイッチ	viii-ix, 76, 86
ボリュームつまみ	viii-ix, 2

マ

マスターチューン	26, 81
マスターバランス	23, 81
ミュート	15
メトロノーム	メトロノーム音量調節 57-59, 81
	メトロノーム機能 58-59
	メトロノームボタン xi
	メトロノーム録音 5, 52, 82
メモリディスク	xvi, 60
モード切り換え (タイトル入力)	42-43

ラ

ライトプロテクトタブ	xiv
ランダムリピート	29
リズムパート、リズムトラック	50
リセット機能	79-81
リターン&ストップ	31
リバーブ	3, 81
リピート	一曲リピート 28
	全曲リピート 27
	ランダムリピート 29
	リピートボタン xii
	A-Bリピート 30
リモコン	各部の名称 xii
	電池交換 xii
	リモコン受光部 xiii

ルーム	3
録音	アンサンブルパートの録音 50
	基本的な録音のながれ 38
	再録音 40-41
	時間録音 50, 70
	タイトル入力 42-43
	メトロノーム録音 50, 70
	リズムトラックの録音 50
	録音タイプ 70
	録音テンポ変更 54
	録音ボタン x, xii

英数字

—/NO、+ /YESボタン	x
0ボタン (リモコン)	xii, 16, 17
2DD、2HD	xiv, xvi, 60, 69, 72
A (リターン&ストップ)	31
A-Bボタン (リモコン)	xii, 30
A-Bリピート	30
ALL (全曲リピート)	27
AUX IN、AUX OUT (補助入出力端子)	viii-ix, 86
Delay In	75
DSK	39
E-SEQ曲、E-SEQタイプ	21, 36, 65, 72
ESBL Out	76
HP	76
Import File	75
KBD Out	76
Lボタン (パートセレクト)	xi, xii, 18
Local、Local Control	78
LR	LRスプリット録音 47
	LRセットアップ 46
	LR対応ソフト 8
	LR録音 44-45, 55
MAC	76, 86
MIDI	MIDIインプリメンテーションチャート 87
	MIDIセットアップパラメーター 73, 81
	MIDIセットアップメニュー 74
	MIDI端子 viii-ix
	MIDIチャンネル 21
	MIDI Out 76
OFF (リピート解除)	27-31
Out Ch	76
PC1、PC2	76, 86
Piano Part	75
Piano Rcv Ch	75
PianoPartESBL Out	75
Prg	76
Rボタン (パートセレクト)	xi, xii, 18
Remote In、Remote Out	77
RND (ランダムリピート)	29
RPT (一曲リピート)	28
S0	72
SMF曲、SMFタイプ	21, 36, 72, 82
Split	76
Thru Port2	76
TO HOST	76
TO HOST端子	viii-ix, 82, 86
Trans	76
Voice (音色)	6
Vol (音量)	6, 25, 48, 76

保証とサービスについて

本機の保証期間は、保証書に記入されたご購入の日付から1ヶ年です（現金、ローン、月賦などによる区別はございません）。また保証は、日本国内にてのみ有効といたします。

●保証書

保証書をお受け取りの時は、お客さまのご住所、お名前、お買上げの年月日、販売店名などを必ずご確認ください。無記名の場合は無効となりますので、くれぐれもご注意ください（保証書はピアノ本体と共通です）。

●保証書は大切に保管しましょう。

保証書は弊社が、本機をご購入いただいたお客さまに、保証規定に則りご購入の日から向こう1ヶ年の無償サービスをお約束申し上げるものですが、万一紛失なさいますと保証期間中であっても実費を頂戴させていただくことになります。いつでもご提示いただけますように、十分ご配慮の上で保管してください。また、後々のサービスに際しての機種の判別やサービス依頼店の確認などにも役立ちます。保証期間が切れましても、お捨てにならないでください。

●保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買上げ店にご連絡いただきますと、技術者が修理・調整致します。この際、必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合には、サービス料金をいただく場合もあります。またお買上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買上げ店あるいはヤマハにご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、引き続き保証期間中のサービスを責任をもって行うよう手続き致します。

満1ヶ年の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引き続き責任をもってサービスをさせていただきます。なお、補修性能部品の保有期間は最低8年となっています。そのほかご不明な点などございましたら、下記のヤマハサービス網までお問い合わせください。

ヤマハサイレントアンサンブルピアノについてのお問い合わせは、もよりのヤマハピアノ特約店/下記のヤマハへ。

北海道支店	〒064	札幌市中央区南10条西1丁目1-50 (ヤマハセンター内) TEL.011-512-6114
北海道サービスセンター	〒064	札幌市中央区南10条西1丁目1-50 (ヤマハセンター内) TEL.011-513-5036
仙台支店	〒980	仙台市青葉区大町2-2-10住友生命青葉通りビル TEL.022-222-6144
仙台サービスセンター	〒983	仙台市若林区卸町5-7 (仙台卸商共同配送センター3F) TEL.022-236-0249
東京支店	〒108	東京都港区高輪2-17-11 TEL.03-5488-5442
関東支店	〒108	東京都港区高輪2-17-11 TEL.03-5488-1680
首都圏サービスセンター	〒211	川崎市中原区本月1184 TEL.044-434-3100
東京サービスステーション	〒108	東京都港区高輪2-17-11 TEL.03-5488-6625
名古屋支店	〒460	名古屋市中区錦1-18-28 TEL.052-201-5145
名古屋サービスセンター	〒454	名古屋市中区玉川町2-1-2 (ヤマハ(株)名古屋流通センター3F) TEL.052-652-2230
浜松サービスセンター	〒435	浜松市上西町911 (ヤマハ(株)宮竹工場内) TEL.053-465-6711
大阪支店	〒542	大阪市中央区南船場3-12-9心斎橋ブラザ東館 TEL.06-252-7541
大阪サービスセンター	〒565	吹田市新芦屋下1-16 (ヤマハ(株)千里丘センター内) TEL.06-877-5262
四国サービスステーション	〒760	高松市丸亀町8-7 TEL.0878-22-3045
広島支店	〒730	広島市中区紙屋町1-1-18 TEL.082-244-3748
広島サービスセンター	〒730-01	広島市安佐南区西原6-14-14 TEL.082-874-3787
九州支店	〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL.092-472-2152
九州サービスセンター	〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL.092-472-2134
本社/カスタマーサービス部	〒435	浜松市上西町911 (ヤマハ(株)宮竹工場内) TEL.053-465-1158
本社/ピアノ営業部	〒430	浜松市中沢町10-1 TEL.053-460-2181

ピアノ・インフォメーションセンター 営業時間：月～金、10：00～17：00
フリーダイヤル 0120-084808

※住所および電話番号は変更になる場合があります。

